



まつど未来づくり会議
～松戸の強みを活かした未来への指針づくり～

生活環境分科会

発表用資料

イマジンまつど
～私たちの明るい未来をつくる～

平成21年11月7日（土）

分科会委員

- 草皆 はつ代
- 郡司 吉松
- 坂本 学（副会長）
- 高村 裕
- 土田 茂通
- 中川 文子
- 橋本 たき
- 平賀 義男（分科会長）
- 三嶋 秀恒
- 渡邊 滋子

- 戸張 武彦
- 布施 優
- 遠藤 高幸



開催状況



- 第1回：平成21年 8月 7日（金） 17時10分～19時
- 第2回：平成21年 8月24日（月） 13時～16時
- 第3回：平成21年 9月24日（木） 15時～18時
- 第4回：平成21年10月14日（水） 13時～19時



第4節 安全で快適な生活環境の実現

1. 災害に対する不安を減らすようにする
2. 火災等の災害から市民生活を守る
3. 救急救命が必要になった市民の生命をつなぐ
4. 環境にやさしい地域社会をつくる
5. 犯罪や事故のない安全で快適な地域社会をつくる
6. 緑と花に親しむことができるようにする



**災害に対する不安を減らす
ようにする**

目指したい姿の宣言文



**防災意識を高めることを通して、自助・共助・公助の体制を推進することで、災害に強く命を大切に
する社会を実現する**

指標案



- 防災訓練への参加団体数
- 自主防災組織率
- 自主防災組織の訓練参加率

市民の役割

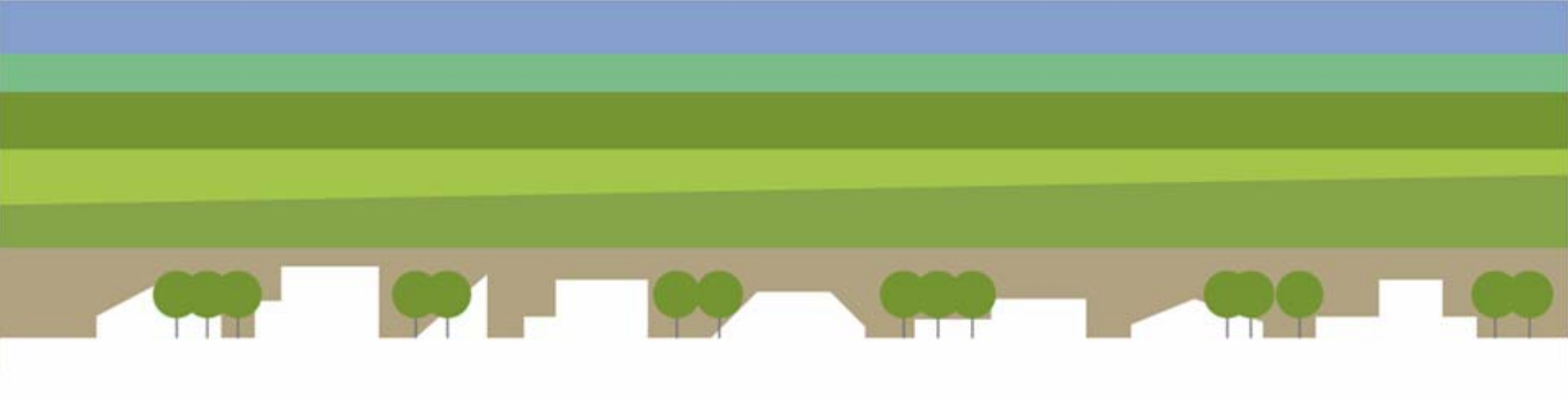


- **地域の防災訓練に参加する**
- **自助—自分たちでも防災意識を高めていく
共助—自治会・町会で訓練をして体得する**
- **災害に対する備蓄をする**
- **家族の連絡方法（171伝言板）を確立しておく**

行政の役割



- **避難場所の見直し**
- **備蓄機材、備蓄食料の見直し・点検**
- **サバイバル方法を含め、防災情報を発信する
（情報を共有化する）**
- **日頃から非常事態に備えてさまざまな準備をする**



火災等の災害から市民生活を守る

目指したい姿の宣言文



**行政・市民・地域や様々な分野の人々が協力し、
設備を拡充することで、火災等による被害がなく、
安全・安心なまちを実現する**

指標案



□ 火災件数

□ 消火器・火災報知機の設置件数

□ 行政の消防施設（消防署）、設備の整備率

□ 火災原因

市民の役割



- **必要最低限の消火設備、警報設備（火災報知機）を備える**
- **消防訓練に参加する**
- **各々の家庭において、整理整頓をきちんとし、地域協力を常とする**

行政の役割



- **消防施設・設備の整備**
- **消防職員、消防団員の確保**
- **行政は、さまざまな専門家の把握をして、いざという時に備える**
- **火災報知機の導入について、情報提供をする**



**救急救命が必要になった市民の
生命をつなぐ**

目指したい姿の宣言文



救急医療機関の受け入れ体制の充実と市民の救命情報・知識を向上させ、即応した救命ネットワークを構築することで、多くの市民の生命を守る

指標案



- 救急搬送の時間
- 救命率
- 救命講習受講者数
- 救急救命ステーション数

市民の役割

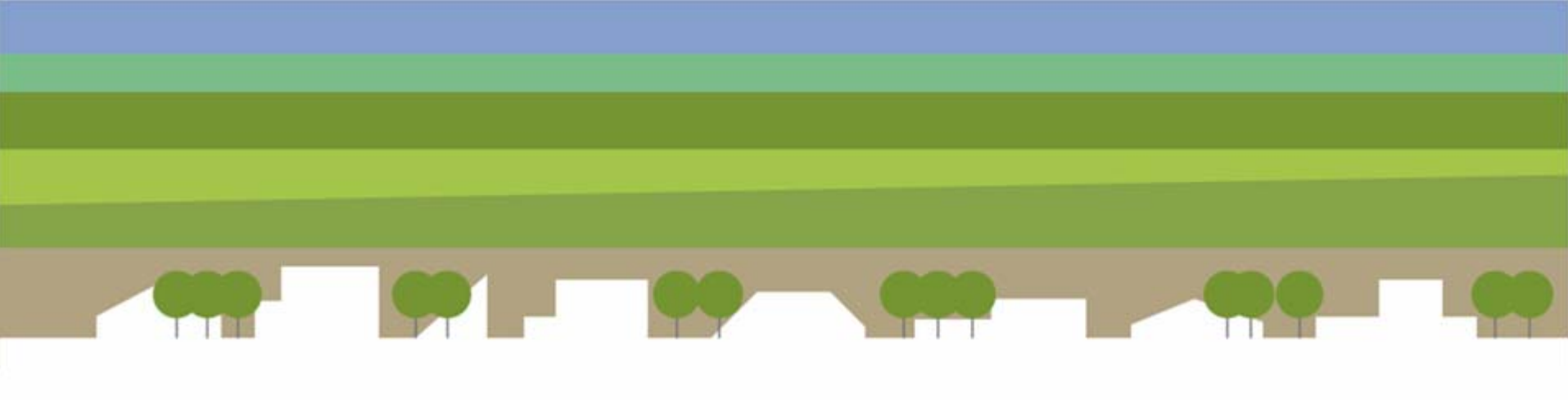


- 応急手当の知識を養う
（救命講習・訓練の参加）

行政の役割



- **救急病院との連携を強め、受入れシステムを構築する**
- **市民が安心できるように、救急医療体制について情報提供する**
- **待ち時間のない救急車対応（病院への円滑な受入れ）**



環境にやさしい地域社会をつくる

目指したい姿の宣言文



行政・市民一人ひとりは、日常生活における省エネルギーを加速させ、新エネルギー導入に努めて、低炭素社会の基盤を作ること、地球温暖化防止を推進する

指標案



- **エコライフシート実践者数**
- **地球にやさしい行動宣言登録者数**
- **CO₂排出量の削減率**
- **ソーラーパネルの設置数**
- **ソーラーパネルの設置に対する市の助成件数**

市民の役割



- **省エネ機器の積極的導入**
- **減CO₂の意識を自分で学ぶ**
- **クリーン事業への理解と新エネルギー等導入を進める**

行政の役割



- **ソーラーパネルの設置
発電量を拡大しデータを公開する**
- **市民への周知**
- **ソーラーパネルの設置助成金の拡充**
- **数値目標を明確にする**



**犯罪や事故のない安全で快適な
地域社会をつくる**

目指したい姿の宣言文



**犯罪や事故のない安全・安心のまちづくりに
向けて、地域の見守りと自らの責任により、お
互いに助け合える社会を実現する**

指標案



- 防犯活動団体数
- 犯罪（ひったくり等）件数
- 交通事故件数

市民の役割




- **地域、町会のパトロール体制を強化する**
- **交通ルールを守る**
- **自らの責任において、防犯への努力を惜しまない、意識を高める**
- **犯罪や事故を防ぐため、地域の中で関心のある人々の話し合いの場を作る**

行政の役割



- 街灯の整備
- 緊急連絡体制の強化
- 事件が起きてから行動するのではなく、日頃より見守る
- 防犯カメラの設置



**緑と花に親しむことができる
ようにする**

目指したい姿の宣言文

生きものやみどりとともに暮らすために、みどりの市民力を推進することで、人と自然を大切にする思いやりの心をもって、豊かで潤いのある生活を実現する

指標案



- ボランティア活動団体数
- ボランティア活動人数
- 緑が保全されていると感じる人の数
- 身近で緑が増えたと感じる人の数

市民の役割



- **家庭での緑化。地域の美化**
- **一人よがりにならず、全体の環境を考えた生活を実践していく**
- **地域住民で仲間づくりをして、ボランティア活動をする**
- **市民と行政の協働事業推進**

行政の役割



- **市全体の緑化推進**
- **市民が緑のカーテンを導入することを推進する**
- **みどりを守り育てる人々（ボランティア）を支援する**
- **緑を守る法整備、体制づくり**
- **緑の拠点づくり、情報発信**

今回の取り組みに対する分科会長としての思い

□ 「この先10年の松戸市の姿を描いてほしい」——8月7日の全体会の冒頭、平川清・松戸副市長からあいさつがあり、まず、その遠大なテーマに驚きました。果たれまで私自身、「都市の未来像」など考えてみたことはありませんでした。「果たして、11月7日までに宣言文までこぎつけるだろうか」とちょっと案じておりましたが、杞憂に終わりました。

□ 本格的に動き始めたのは、第2回会議・生活環境分科会からでした。皆さん、それぞれの道でがんばってこられたエキスパートの集団です。毎回、議論百出。会議は終始盛り上がりました。皆さんの瞬時の判断と提起されたアイデアには、環境、自治会、消防、行政などの分野で、実際に体験されている裏打ちがあり、説得力がありました。

□ 私たちの生活環境分科会は、防災・防犯・救急救命・環境など、討論対象が幅広く、各分科会の中で一番多かったような気がします。難しい環境問題では、それぞれのエキスパートに現況を伺いながら、皆さんで逐条審議をして議案をまとめました。意見の相違もしばしばありました。それぞれ納得行くまで議論を尽くし、最後は収れんされ合意にこぎつけました。

□ 特に、分科会最後の10月14日には、皆さんで知恵をしばり、延々6時間の集中討論となりました。夜7時を過ぎ、「指標」と「目指したい姿の宣言文」が形になりました。その瞬間、みなさんで顔を見合せながら、喜び合った次第です。松戸市民にとって「松戸市の10年後の姿」を描けたかどうか分かりませんが、「生活環境分科会」として衆智を結集しました。

□ この会議に参加できたことをうれしく思います。がんばれ松戸市！